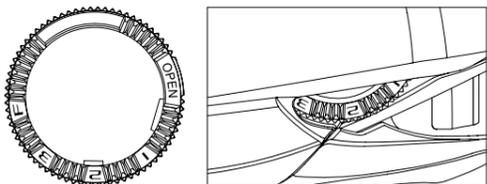


Fはフロライソの使用を想定したフリースピン設定となっております。

図のように1から3までのボリュウムとFのフリースピンモードの選択が可能です。(OPENはサントフリースピンの開閉時に使用するためのもので、フリースピン設定ではできません)1から3はセミオートボリュウムの幅広いフリースピンとなり、フリースピン力は1⇒2⇒3の順で強くなります。まずは2で使いいただき、リズムや風などの状況に応じて設定してください。

■フリースピンの設定について

※フリースピンの設定は、取扱説明書をご覧ください。



●商品コード / 製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パーツ図・底面図もしくは側面に製品コードの上ラケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

1-DC4の設定について

※製品改良のため仕様及びフリースピンの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

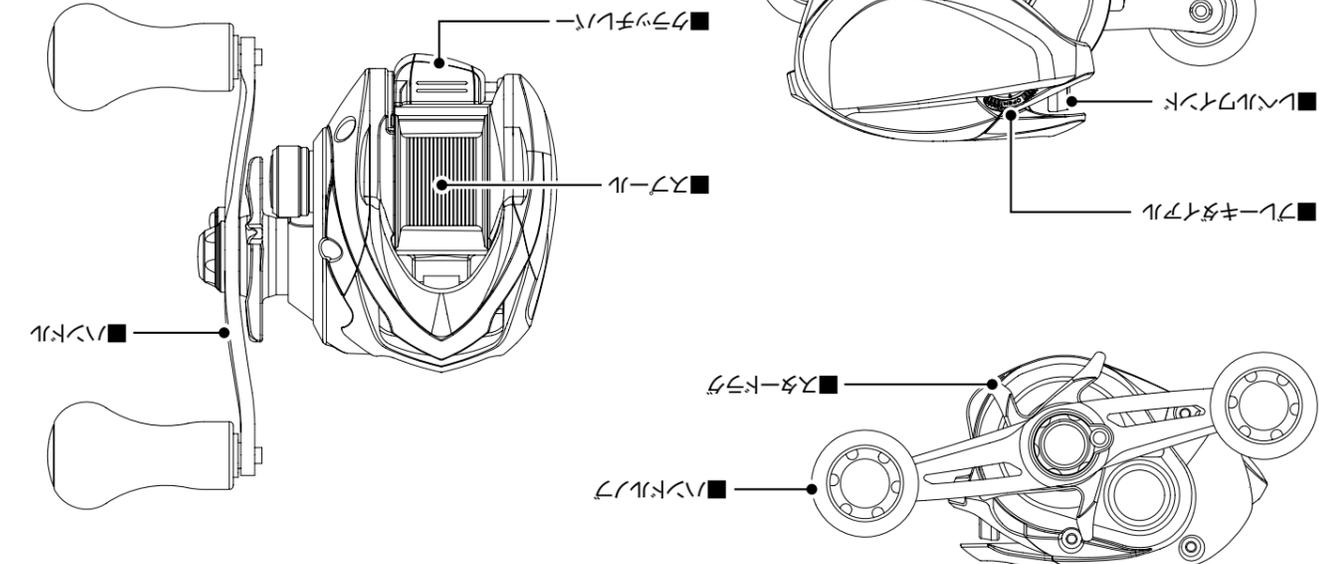
品番	キア比	最大ドラッグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻容量 (号-m)	糸巻容量 (lb-m)	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	ハンドル長 (mm)	ハンドル回転数
HG RIGHT	7.4	5.0	220	1-365 1.5-255 2-180	12-130 14-95 16-85	79	45	6/1
HG LEFT	7.4	5.0	220	1-365 1.5-255 2-180	12-130 14-95 16-85	79	45	6/1
XG RIGHT	8.5	5.0	225	1-365 1.5-255 2-180	12-130 14-95 16-85	91	48	6/1
XG LEFT	8.5	5.0	225	1-365 1.5-255 2-180	12-130 14-95 16-85	91	48	6/1

仕様一覧

※製品改良のため仕様及びフリースピンの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。



安全上・ご使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意

⚠	<ul style="list-style-type: none"> ●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをすることがあります。 ●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをすることがあります。
⚠	<ul style="list-style-type: none"> ●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをすることがあります。 ●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。 ●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。 ●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。 ●キャストの時はクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをすることがあります。 ●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 ●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 ●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
⚠	<ul style="list-style-type: none"> ●回転しているスプールには触れないでください。けがをすることがあります。

サービスのご案内

EXSENCE DC

SS XG

SS HG

取扱説明書

SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

<p>株式会社シマノ 埼玉営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1</p> <p>株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17</p> <p>株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋2-6-21</p> <p>株式会社シマノ 大阪営業所 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地</p> <p>株式会社シマノ 中四国営業所 〒700-0941 岡山県岡山市南区青江6-6-18</p> <p>株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町4-6</p>	<p>TEL.(048)772-6662</p> <p>TEL.(03)3744-5656</p> <p>TEL.(052)331-8666</p> <p>TEL.(072)223-3920</p> <p>TEL.(086)264-6100</p> <p>TEL.(0942)83-1515</p>
--	---

株式会社シマノ釣具事業部
本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル ☎0120-861130(ハローイイサオ)をご利用ください。
受付時間：AM9:00~12:00・PM1:00~5:00(土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

使用方法・リールの準備

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

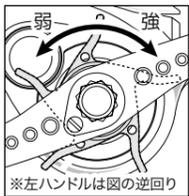
■メカニカルブレーキノブ

DC ブレーキを搭載したリールでは、メカニカルブレーキの設定方法が従来のブレーキシステムとは異なります。

通常はスプールの軸方向にガタつかない程度にゆるめてお使いください。メカニカルブレーキを必要以上に締め付けると、DC システムが本来の性能を発揮できません。ただし、想定以上の強風条件などではメカニカルブレーキを締め付ける必要があります。

■スタードラッグ

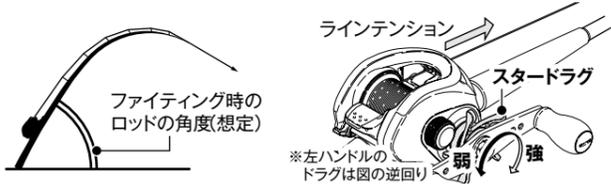
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラッグが締まります。



■ドラッグの調整方法

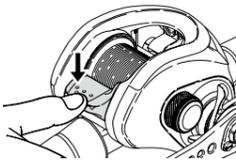
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールの逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラッグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。



■クラッチ操作方法

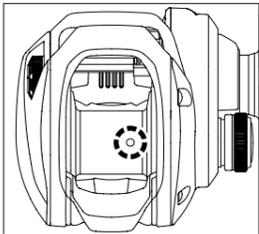
親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



■スプールへの糸止め方法

スプールに糸を巻きつけて締めこんでください。結びこぶをスプールの凹みに入れ込んでください。

*テープを貼り付けて固定しても大きな不具合にはなりませんが、回転性能を最大限に引き出すために推奨いたしません。

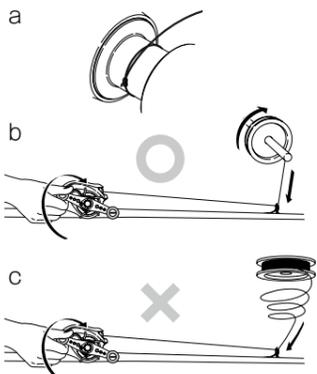


■スプールに糸を巻かれる時の注意点

PE ラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

■糸の巻き方

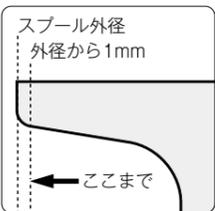
1. ドラッグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図 a)
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図 b) 図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。

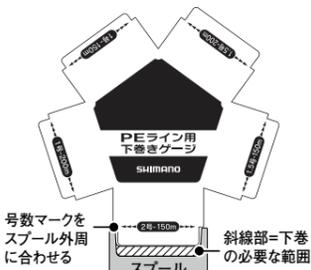
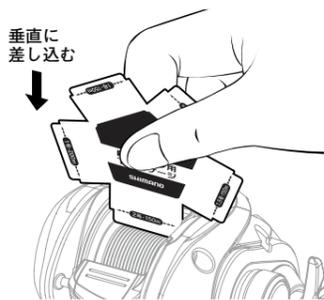


■下巻き時の注意点

PE ラインを巻かれる時に下巻きをされる場合は、PE ラインがナイロンをご使用ください。下巻きにフロロラインをご使用になられますと、重量が重いためブレーキ設定がずれてしまう可能性があります。

ゲージの使用方法

右図のようにゲージをスプールに垂直に差し込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。スプールとゲージの間にできたすき間（図の斜線部）が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。



■キャスト方法

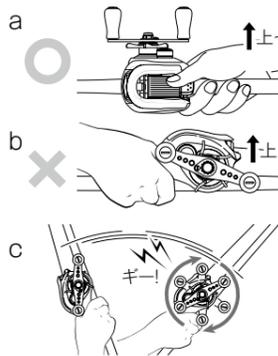
●正しい握り方

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。(図 a)

下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。

ハンドルを横向きにしてしまうと… (図 b)

キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。(図 c)



※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギヤの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。 ※キャスト中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギヤの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。 ※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

■より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

●糸巻き量、スプール回転数

ブレーキセッティングはフルライン（スプールの 95% 糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強効きすぎる場合があります。糸巻き時には、スプールのテーバー面のエッジ（左記 ●推奨糸巻量）に合わせた糸巻き量でご使用ください。

●糸の太さ、スプール回転数

糸の太さによって、キャスト時のスプール回転数の下がり方が異なります。同じ糸巻き状態で同じ速度でルアーが飛んでいる場合には糸が太いほうがスプール径が早く痩せ、スプール回転数は多くなります。そのため、太い糸のほうが理論的にはブレーキが強効きやすいため傾向があります。

●ベアリングの回転状態、汚れ

DC のブレーキプログラムは汚れのないスムーズな回転状態のベアリングで設定されています。汚れ、オイル切れ等の回転状態の悪いベアリングを使用した場合はブレーキが強効きすぎるように感じる場合がありますのでご注意ください。（多少のベアリング汚れ等であれば、ブレーキを若干緩めることで対処できます。）

●風向、風力

風向と風力によってルアーの飛びは大きく影響を受けます。特に真正面からの向かい風は、ルアー、ラインに大きな影響を与えます。風の強い時に使用される際はオートポジションをご使用ください。

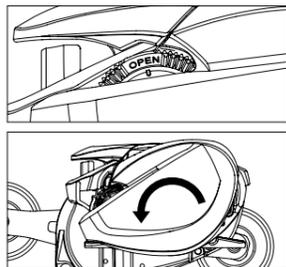
■エスケープハッチの開き方

1. ブレーキダイヤルを OPEN の位置に合わせます。
2. サイドプレートを図の方向に回転させます。
3. サイドプレートを引き抜きます。
4. 閉じる際は逆の手順でサイドプレートを元の位置に収め、回転させ、ダイヤルを OPEN から動かします。

※サイドプレートを外した状態で開口部を下に向けると、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意ください。

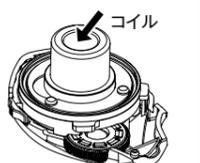
※メカニカルブレーキを締めた状態でサイドプレートを開けると、スプールがサイドプレート側に寄せられているため、構造上サイドプレートが閉じられなくなります。サイドプレートを閉じる際は、必ずメカニカルブレーキノブを緩めてください。

※サイドプレートは、本体から完全に切り離されるため、落下による破損や紛失にご注意願います。



分解時のご注意

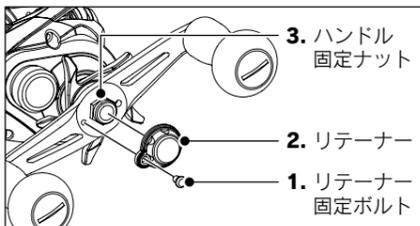
- ・電子部品は、全て DC ブレーキユニット（本体枠 B 受）の内部に取り付けられています。
- ・本体枠 B 受に装着されているコイル（右図）に力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。



■ハンドル着脱時のご注意 ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

ハンドルの着脱をされる場合は次の手順で行ってください。

1. リテーナー固定ボルトを外す。
 2. リテーナーを外す。
 3. ハンドル固定ナットをレンチで外す。
- ※取り付け時は逆の順番で行ってください。



■ハンドルノブの取り外し方

1. ハンドルノブカラーを手で押さえながら、付属のハンドルノブレンチを使い、ハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

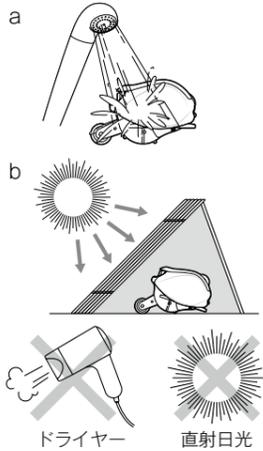
使用後は、必ず竿から取り外して、真水で洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラッグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2 分間水洗いしてください。(図 a)

スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。(図 b) ※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。 ※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は 1 日に 1 度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H (メンテスプレーセット)	¥1,900
SP-013A (オイルスプレー)	¥1,050
SP-023A (グリススプレー)	¥1,100
SP-015L (ザルスリールオイルスプレー)	¥1,500

※最寄りの販売店にてお問い合わせください。上記は2019年8月現在の品番及び税抜本体価格です。

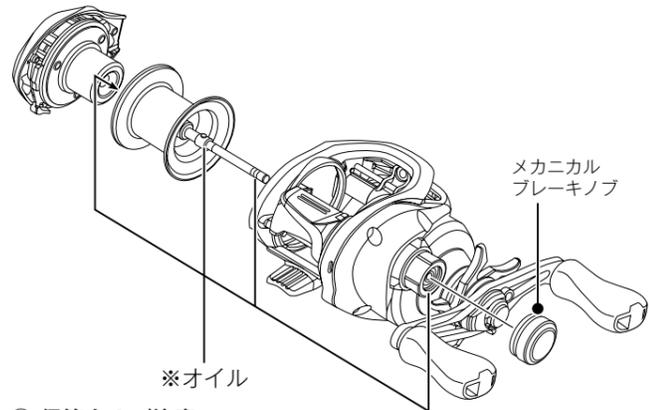
《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまちがえないように噴霧してください。(シマノ以外のオイルは使用しないでください。) オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラッグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所



⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

EXSENCE
DC
SS XG
SS HG